



12 つくる責任 つかう責任

14 海の豊かさを 守ろう

17 パートナリシップで 目標を達成しよう

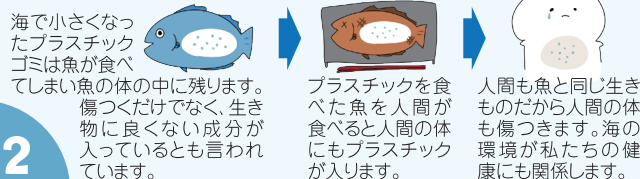
小さいプラスチックが海水に交じっているのは知っていますか？川や海に捨てられたビニール袋やペットボトルなどが、水に流されたり日光に当たったりして、もろくなり小さくなります。プラスチックは、人工的なものだから落ち葉や枝のように自然に分解されず、ながーい間海に残ってしまいます。海の生きものたちに影響があるだけでなく、私たちにも影響があります。今回は海のごみについて学びましょう。

たとえば、自分の家の田んぼや畑、家庭菜園をしている庭にゴミが捨てられていたらどう思いますか？



海も畑や田んぼと同じ食べ物を育てる場でもあります。海は、畑や田んぼと違ってどこからどこまでが誰のものか決まっておらず自分がキレイにしよう！と思にくいのです。

海が近くに無い人も、海の環境に関係しています。海にあるゴミの70%は、川から流れてくると言われています。町でポイ捨てされたゴミも雨や風で排水溝に落ち、川に流れていきます。ポイ捨てはなかなか減らず、プラスチック自体を減らしていくしかありません。



1

2

問題解決には、たくさんの人の協力があるので、目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」も必要です。小さいいろんなことが大きな成果につながります。



みんなで協力し、取り組みましょう!!!

3

プラスチックはとても便利ですが、問題も多くあります。海の生きもののために、目標14「海の豊かさを守ろう」を達成するためにはプラスチックゴミを減らさなければなりません。このことは目標12「つくる責任 つかう責任」にも繋がります。物を無駄にしない、ゴミを減らす、便利だからと使いすぎたはいけませんね。